



生
活

コレクションに見る

日々の生活の中に息づく“美”を題材にした作品を紹介



の

詩

う
た



〈大分市美術館連携企画〉
特集展示・佐藤敬



2016 コレクション展 V

2016年 12月2日|金| - 2017年 1月31日|火|

大分県立美術館 3階 コレクション展示室

【前期】12月2日[金]~2017年1月3日[火] 【後期】2017年1月5日[木]~1月31日[火]

※12月4日[日]、18日[日]、2017年1月8日[日]、22日[日] 13:30-14:30
ギャラリー・トーク開催(予約不要・要観覧券)

【開館時間】10:00-19:00 【観覧料】一般300(250)円 大学生・高校生200(150)円

※金曜日・土曜日は20:00まで ◎1月4日[水]は展示替えのため休展 ◎作品は一部展示替えを行います
(入場は閉館の30分前まで)

※()内は20名以上の団体料金 ※中学生以下は無料 ※高校生は土曜日に観覧する場合は無料 ※県内の小学・
中学・高校生(これらに準ずる者を含む)とその引率者が教育課程に基づく教育活動として観覧する場合は無料 ※障がい者
とその付添人(1名)は無料

〒870-0036 大分市寿町2番1号 TEL:097-533-4500 FAX:097-533-4567 http://www.opam.jp
JR大分駅府内中央口(北口)から徒歩15分/大分ICから車で10分

1. 福田平八郎《蛤》1952年
2. 山本笠園《模唐物四神花籃》制作年不詳(後期のみ)
3. 高山辰雄《部屋の中》1982年
4. 《小鹿田古作品 味噌瓶2斗入》制作者・制作年不詳
5. 高見八州洋《小宴の盆(大)(小)》2011年(前期のみ)
6. 志村ふくみ《狸々菱》1994年(後期のみ)
7. 佐藤敬《二重空間》1970年
8. 宇治山哲平《玄華》1972年

大分県立美術館

生活の詩

コレクションに見る

近世以降現代にいたるまで、大分県からは数多くの優れた美術家が出ています。中でも南画の田能村竹田、日本画の福田平八郎、高山辰雄、洋画の宇治山哲平、彫刻の朝倉文夫、竹工芸の生野祥雲齋らは、わが国の美術に大きな足跡を残すとともに、いまなお幅広い人気を博す代表的な作家です。大分県立美術館では、これら大分県関係作家の作品や資料を中心とした約5,000点におよぶコレクションを年間6期のコレクション展で紹介しています。

今回のコレクション展のテーマは、「コレクションに見る生活の詩」です。日本画のコーナーでは日常生活で目にする身近なものを題材にした福田平八郎と高山辰雄の作品をピックアップ、近世絵画のコーナーでは伝統的な生活空間を華やかに飾り立てた襖絵や屏風、掛軸等を紹介しします。続いて、工芸のコーナーでは小鹿田焼や竹工芸、着物など、日々の暮らしに彩りを添える工芸品を紹介しています。

また、最後の洋画のコーナーでは、大分市出身の洋画家・佐藤敬の生誕110年を記念し、大分市美術館と連携して、その画業を顕彰する特集展示を行います。

2016 コレクション展 V 珠玉の作品群。みどころピックアップ

日本画

日々の暮らしに潜む美を独自の視点でとらえ、艶やかに写し出した福田平八郎。生活の一場面を深い共感に満ちたまなざしでとらえ、「生きる」ことの意味を問いかけた高山辰雄。対照的な道を歩んだ二人の日本画の巨匠の作品をご紹介します。



福田平八郎《牡蠣と明太子》1953年



高山辰雄《一軒の家》1988年

近世絵画

掛軸をはじめ、襖絵、屏風、扁額等は、伝統的な生活空間を飾り立てる日本画の形式として、古来より慣れ親しまれてきました。今回は田能村竹田、高橋草坪、田能村直入ら大分を代表する南画家たちが手がけた多様な形状の作品をご紹介します。



田能村竹田《栄貴萬年図》1811年(後期のみ)



高橋草坪《花卉図襖》1830年頃(前期のみ)

工芸

四季折々の衣・食・住を彩る工芸品は、焼きものや漆器、服飾品、インテリア用品など様々です。小鹿田焼や竹工芸、着物をはじめ多彩な用途と素材、デザインの商品をご紹介します。



生野祥雲齋《木瓜形菱花紋透盛籃》1942年(前期のみ)



宮崎珠太郎《ひしぎ竹の部屋のかご》1990年(前期のみ・寄託品)



片野元彦《木綿地藍揚梅染七宝崩紋折縫絞》昭和後期(前期のみ)

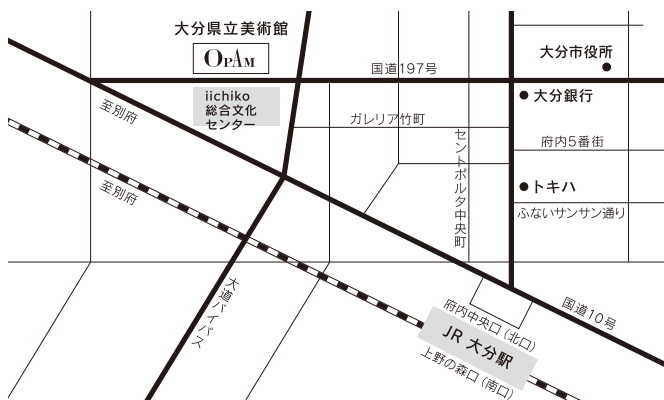
洋画 特集展示: 佐藤敬

昭和27年パリに制作拠点を移した佐藤敬は、欧米の最先端の美術思潮を取り入れながら、抽象表現の新たな展開を模索します。本展では、化石を思わせる独自の抽象スタイルを確立し、国際的に高い評価を得た画業後期の作品をご紹介します。



佐藤敬《人間の壁(白)》1964年

これに併せて、大分市美術館(大分市大字上野865番地)では、佐藤の前半期の画業に焦点を当てた「生誕110年 佐藤敬展—新制作派協会出品作を中心に—」(平成29年1月9日[月]まで)を開催しておりますので、是非ご鑑賞ください。



OPAM 大分県立美術館
Oita Prefectural Art Museum

〒870-0036 大分市寿町2番1号 TEL:097-533-4500 FAX:097-533-4567
http://www.opam.jp JR大分駅 府内中央口(北口)から徒歩15分/大分ICから車で10分

日々の生活の中に息づく“美”を題材にした作品を紹介